

JACET-Kansai Newsletter

No.16 2002年9月10日発行

支部長：岡田 伸夫

JACET-Kansai 事務局：〒631-8501 奈良市帝塚山 7-1-1 帝塚山大学人文科学部 梅咲敦子研究室内

Tel/ Fax: 0724-48-8558 E-mail: ufatsuko@hcn.zaq.ne.jp URL: <http://www.ryukoku.seikyoku.ne.jp/home/87858/>

支部長就任にあたり

岡田 伸夫

近年の大学改革の議論の中で FD (Faculty Development) がよく話題になります。小・中・高の先生方にとっては、教授能力の開発とか教授法の研究とかは当たり前のことで、「大学は今頃になって何を！」と失笑を買うだけかもしれませんが、大学で FD に対する関心が高まってきたのはそれほど昔のことではありません。確かに民主教育協会『教師と学生--マサチューセッツ工科大学教師必携--』(IDE 教育資料第 44 集) 初版の発行は 1971 年で、FD に対する関心は昔からあったと言えなくもありませんが、ファカルティ・ディベロップメントということばが社会に広まり、全国の大学に FD 研究会や FD 委員会が設置されるきっかけになったのは、平成 10 年 10 月の大学審議会答申『21 世紀の大学像と今後の改革方策について』ではなかったでしょうか。

少子化に伴う大学全入時代の到来(いわゆる 2009 年問題)、高校・大学の個性化・多様化、学習指導要領に見られる教科内容の「厳選」など、教育を取り巻くいろいろな動きが出てきていますが、これらが複合して大学新入生の学力低下という現象を生み出しているという懸念をあちこちで耳にします。その一方で、大学卒業生は今まで以上に高度な英語運用能力や IT 能力が求められています。また、景気の低迷が続く中で、大学教育に経済効率が求められていることは周知の通りです。教育は国家百年の大計と言いますが、その成果を測定するタイムスパンは確実に短縮の方向に向かっています。

新入生の学力と卒業生に求められる能力のギャップを埋めるために、大学は、入試改革、カリキュラム再編、クラスサイズの適正化、IT 機器の活用、シラバスの作成、オフィスアワーの設定、単位制度の実質化など、さまざまな改革を試みています。

一方、教員 1 人 1 人のレベルで考えてみると、私たちが日常にかかわらなければならない問題は、つまるところ、どの学生にどのような内容をどのような方法で教えるかということですが、この問題は 1 人 1 人の教員がばらばらに考えていてもなかなか名案は見つかりそうにありません。教員が、情報交換を密にし、広くアイディアを提供し合うことにより、お互いの FD を図っていくしかないのではないのでしょうか。次の教室でどのような授業をしたらいいかと知恵を絞っている教員が一同に集まり、お互いの知見を共有して問題解決の手掛かりを手に入れる---- JACET 関西支部がこのための場を用意することができればその重要な使命の 1 つを果たしたことになります。

また、言うまでもないことですが、大学英語教育の改善と向上につながる諸領域の研究を深めていくことは学会としての JACET の生命線です。今までの『関西支部紀要』は『JACET 関西紀要』と名前を変え、支部会員から広く原稿を募ることになりました。春季・秋季大会、講演会、セミナーなどの実施と『JACET 関西紀要』の刊行を通して、支部の研究活動の一層の活性化を図りたいと思います。

もう 1 つ大事なことがあります。JACET は大学英語教育のプロ集団です。日頃の研究活動の中で得られた知見や洞察に基づき、これからの日本の大学英語教育のあるべき姿は何かという問題に関する専門家のアイディアを外に向かって積極的に発信したり、教育制度やカリキュラムを改革する方策を広く教育界に提言したりして、社会の期待や時代のニーズに応えていかなければなりません。関西支部から JACET 全体に向かって、さらにその外に向かって積極的に発信していきたいと思います。

最後になりましたが、支部活動の活性化につながるアイディアや情報があれば遠慮なくお寄せください。また、多彩な支部活動を展開していくには、皆様のお力をお借りするしかありません。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2002 年度関西支部秋季大会開催のお知らせ

10月13日(日)に神戸市大学共同利用施設「ユニティ」で秋季大会が開催されます。今回は、実践報告、研究発表各2件にくわえ、シンポジウムでは2時間30分の時間をとり、講師の成田一先生(大阪大学教授)、金田正也先生(名古屋学院大学名誉教授)、竹内理先生(関西大学教授)にお話をいただいた後、フロアと十分に議論する時間が設定されています。プログラムと概要を同封いたしますので、是非ご参加ください。また、大会後には懇親会が神戸市外国語大学内の三木記念会館で開かれます。貴重な意見交換の場となりますよう、多数のご参加をお待ちいたしております。

関西支部11月・12月の行事予定

下記のとおり講演会と談話会が開催されます。詳細は、次号(10月中旬発行予定)に掲載いたしますが、ご予約いただければと存じます。

1) 講演会

講師：中右 実 筑波大学文芸・言語学系教授
演題(仮題): 文法と認知のインターフェイス なぜ
in a car なのに on a bus なのか
日時：11月23日(土)午後2時半から4時
場所：キャンパスプラザ京都第1講義室(5F)

2) 談話会

講師：高梨庸雄 京都ノートルダム女子大学教授
演題(仮題): 日本人学習者に即したリーディング
教材の開発 その1 高校教員のリーディング
グ・ストラテジーに関する意識調査から
日時：12月7日(土)午後3時30分から5時
場所：大阪市中央公会堂
*尚、談話会のあとには、忘年会も予定されています。

『JACET 関西紀要』原稿募集中

前回のニューズレターですでに詳細をお知らせしましたが、『JACET 関西紀要』の原稿を募集しています。締め切りは平成15年1月17日(金曜日)です。応募要領は、前回同封の投稿規程またはJACET 関西支部ホームページをご覧ください。紀要に関するお問い合わせは、紀要編集委員長、瀬川俊一先生(〒524-8511 滋賀県守山市三宅町 250 番地 平安女

学院大学 現代文化学部: segawa@my.heian.ac.jp) にお問い合わせください。

第35回近畿中・高・大英語教育連絡協議会

例年どおり標記にJACET 関西支部が共催いたします。ご参加の方は直接、下記に記載の協議会事務局までお申してください。

基本テーマ「21世紀に求められる英語教育のあり方」
日時：平成14年11月28日(木)9:00~16:00

会場：兵庫県立神戸高等学校

〒657-0804 神戸市灘区城の下通 1-5-1

TEL: 0797-23-0661

JR 灘駅より徒歩25分または阪急王子公園駅より徒歩15分

概要：公開授業(櫛谷中学、神戸高校、神戸海星女子学院大学)、研究協議(「公開授業をめぐって」、講演(「こうすれば両立できる! コミュニケーション能力の育成と入試に対応できる学力の要請---実践研究をふまえて」)(鈴木寿一 京都教育大学教授)

参加申込：締切 11月18日(月)

申込先：大会事務局

〒669-3302 氷上郡柏原町東奥 50

県立柏原高等学校 塩見和弘 様

TEL: 0795-72-1166 F A X: 0795-72-1168

参加費：2,500円

本部発行 JACET Newsletter No.134号

標記の本部発行ニューズレター(8月14日発行)は、すでに全国大会プログラムに同封されたお知らせに書かれていましたように、JACET 本部ホームページのみに掲載されています。印刷物は郵送されません。http://www.JACET.org/jacet134.htm を一度是非ご覧ください。

新刊書紹介

事務局にご寄贈いただきました関西支部会員の最新刊書を掲載させていただきます。

『オーラルコミュニケーションの理論と実践』

JACET オーラルコミュニケーション研究会編、

2002年8月、三修社。